

「カーボンフットプリント制度試行事業」
 エコプロダクツ2011出展 製品説明資料

KODAMA

事業者名	コダマ樹脂工業株式会社	
対象製品名	ピュアボトル 4L KX-532	中間財
PCR名称・番号	【改訂版】プラスチック製容器包装	PA-BC-02
製品の概要 (検証:2010年度)	仕様 サイズ φ168×高さ312mm、重量317g、容器4L、形状丸型	

①	71%
②	
③	
④	
⑤	29%



CO₂: 2.19kg
 (原材料調達段階および廃棄・リサイクル段階)
 CO₂の「見える化」
 カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
 検証番号: CV-BC02-030

当社は、
 ・CO₂排出量を「見える化」
 することで、削減効率の
 高いポイントを把握する。
 ・環境負荷低減活動に積
 極的に取り組み、お客様の
 信頼を得る。
 事を目的にCFPIに取り組ん
 できました。

プロセス名	①原材料 調達	②生産	③流通	④使用・ 維持管理	⑤廃棄・ リサイクル	合計 【kg-CO ₂ /製品】
CO ₂ 排出量割合	1.55 kg	-	-	-	0.638 kg	2.19 kg

《算定結果詳細》

対象製品について	本製品は、クラス100で管理されている当社池田工場生産されており、徹底したクリーン化、成形から梱包まで完全無人・一貫製造ラインにより、クリーン度の高い容器となっています。 コダマ樹脂工業ホームページ http://www.d-kjk.co.jp	
算定条件	認定PCR名称	【改訂版】プラスチック製容器包装
	検証番号	CV-BC02-030
	本PCRでは、対象製品が中間財の場合、LC段階の対象段階を(1)原材料調達段階、(5)廃棄・リサイクル段階としている。 ただし、本PCRでは(1)原材料調達段階を三つに分割し、(1-①)容器包装原材料調達段階、(1-②)容器包装製造段階、(1-③)容器包装輸送段階として考えることとなっています。	
結果の分析 (今後の課題)	原材料調達段階が全体の71%を占めています。 しかし、本PCRでは(1)原材料調達段階を三分割して考えることとなっています。原材料調達段階を三分割した各段階での割合は、(1-①)容器包装原材料調達段階が40%、(1-②)容器包装製造段階が57%、(1-③)容器包装輸送段階が3%でありました。 全体から見ても、容器包装製造段階における排出量の割合が高いことが分かりました。 いままでは、全体的なCO ₂ 削減目標を立てていましたが、CFPIに取り組んだことにより、各部署ごとに個別の精密なCO ₂ 削減目標が立てられるようになりました。	